



## 45人の生徒が、青島第九中學の高校生との交流に向けたオリエンテーションに参加！

普通科  
探究科

中華人民共和国の山東省にある青島市の高校生との交流に向けたオリエンテーションを1月30日(金)に実施しました。青島市は、下関市の姉妹友好都市の1つで、山東半島の南部にある膠州湾と黄海を望む港湾工業都市です。青島港には大型船の接岸も容易で、中国の重要な貿易港の1つとして知られています。上海・天津と並ぶ紡績業の中心地の1つであることをはじめ、様々な工業が発展した総合工業都市です。



オリエンテーションに参加し、下関市と青島市との交流の歴史を学ぶ生徒

オリエンテーションには、普通科の2年次生が4人、1年次生が18人、探究科の2年次生が11人、文理探究科の1年次生が12人参加し、下関市総合政策部国際課の職員のみなさまから青島市の特徴や姉妹友好都市として青島市と交流を重ねてきた歴史について、説明していただきました。さらに、このたび交流する青島第九中學と本校をオンラインでつなぎ、青島第九中學の先生方から学校の紹介をしていただきました。また、青島市から下関市に国際交流員として派遣されている王 涛 (オウ トウ) さんや、下関市の職員で青島市に派遣されている国際交流研修員 山野 柚香 さんからも、およそ1,000万人の人々が暮らす青島市について説明していただきました。

生徒は、春節を迎えた青島第九中學の生徒に年賀状を送るなど、すでに交流活動を始めています。活発な交流となることを期待しています。

## 環境に関わる研究に取り組む科学部の生徒が、エフエム山口的取材を受けました。

普通科  
探究科

環境に関わる研究に取り組む科学部の生徒が、2月6日(金)にエフエム山口的取材を受けました。取材を受けた生徒は、普通科の2年次生が2人、1年次生が2人、探究科の2年次生が1人、文理探究科の1年次生が1人です。参加した生徒は、竹の繁殖により、森林の環境が破壊されている竹害などの解決をめざした研究や、土壌を改良し植物の成長を促進するための研究に取り組んできました。



安部あずみさんの取材を受ける科学部の生徒

取材を受けた「コスモ アースコンシャス アクト 未来へのメッセージ in 山口」

は、情報番組であるCOZINESSのコーナーの1つです。「未来の地球を守るために、今できること」をテーマとして、毎週木曜日の15:30頃放送されています。そしてこのたびのインタビューの結果は、2月26日(木)に放送されました。放送された番組では、パーソナリティーである 安部 あずみ さんが、これまで取り組んできた生徒による研究活動を、エコアクションとして紹介していただきました。



お世話になったエフエム山口のみなさんと記念撮影

生徒は緊張しながらインタビューを受けていましたが、時間の経過とともに安部あずみさんとも打ち解けはじめ、あっという間に取材が終了しました。

## 文理探究科の1年次生が、やまぐちU18デジタルアートコンテストにおいて「銅賞」を受賞！

普通科  
探究科

山口県教育委員会が主催するやまぐちU18デジタルアートコンテスト2025に、文理探究科の1年次生が作品を出品し、高校生のカテゴリ



「銅賞」を受賞した作品

において銅賞（4位相当）を受賞しました。山口県教育委員会が主催する本コンテストは、パソコンやタブレットなどのデジタル機器を使って作品を作製し、応募するもので、やまぐちスマートスクールポータルサイトにも紹介されていました。

入賞した生徒は、自分が好きなものや興味があるもので、みんなに見てもらいたいものをデジタルアートで表現する“いいね”アートのイラストジャンルに出品しました。作品名は「染まりゆく」です。iPadのibisPaintを使って描いたイラストは、およそ4時間かけて完成させたものでした。このように、様々なコンテストがありますので、生徒のみなさんは、興味・関心があるものを見つけたら、積極的に挑戦しましょう。



やまぐちU18デジタルアートコンテストに出品した生徒

## 科学部の1年次生が、やまぐち高校生ICT活用コンテストにおいて「入賞」を受賞！

普通科  
探究科

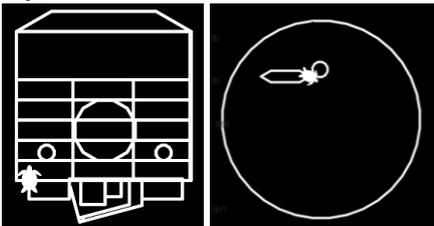
山口県教育委員会が主催するやまぐち高校生ICT活用コンテスト2025に、科学部の生徒3人が、DXアイデア部門と特別部門に応募しました。

DXアイデア部門には、ICTで暮らしや社会を変える、未来への斬新なアイデアをまとめて出品しました。応募した探究科の2年次生は、ゲームエンジンを用いて適切な防災行動を学ぶことができるシミュレーションソフトを開発し、これを用いることにより、災害が起こったときに求められる望ましい行動を学習できることを提案しました。

特別部門には、プログラミング言語であるPythonで描いた作品を出品しました。応募した普通科の1年次生2人は、プログラミングした結果を、Pythonの標準ライブラリの1つである Turtle Graphics（タートルグラフィックス）を用いて実行し、線や円などベクトルグラフィックを描画しました。2人は、SLやまぐち号の客車や、夏みかんなど山口県にちなんだ画像を描くコードをつくり、実行した結果を作品として応募したところ、「入賞」をいただくことができました。プログラムを書く力は、これからの社会で求められる力の1つです。これからも学習を続け、より複雑なプログラミングに挑戦しましょう。



やまぐち高校生ICT活用コンテストで受賞した生徒



「入賞」を受賞した生徒の作品

## 4人の生徒が、日本情報オリンピックで「敢闘賞」を受賞しました。

普通科  
探究科

12月7日(日)に開催された第25回日本情報オリンピック(JOI2025/2026)の二次予選に参加した4人の生徒が、敢闘賞を受賞しました。敢闘賞は、二次予選に参加することができた1,379人のうちJOI予選Bランクに選ばれた参加者1,232人に贈られたものです。本校からは、普通科と探究科の2年次生がそれぞれ1人、文理探究科の1年次生が2人が受賞することができました。今年の7月には、来年度の日本情報オリンピックのエントリーが始まります。生徒のみなさんのチャレンジを期待します。



「敢闘賞」を受賞した生徒

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科・文理探究科を対象としたプログラムです。